国立劇場開場50周年記念　2月文楽公演【東京】配役表

平成29年2月4日（土）～20日（月）

近松名作集

第一部　午前十一時開演（午後一時五十五分頃終演予定）

近松門左衛門＝作

平家女護島

六波羅の段

三代目野澤喜左衛門＝作曲

靖太夫糸　錦

英太夫　清介

鬼界が島の段

三代目野澤喜左衛門＝作曲

咲甫太夫寿太夫　始

南都太夫　津國太夫　三

咲甫太夫輪太夫　亘

清太夫左衛門　丹

有王丸　千

法ッレ　皇鳥

藤喜一郎　燕

清藤太夫朗　清

蔵　允

船路の道行より敷名の浦の段

三代目野澤喜左衛門＝作曲

清太夫　盛

咲甫太夫輪太夫　亘

南都太夫　津國太夫　三

咲甫太夫寿太夫　始

藤喜一郎　燕

清藤太夫朗　清

蔵　允

越中次郎兵衛盛次	上	俊寛妻あづまや
平相国清盛	下司次郎友方	有王丸
童能登守教経	判官康頼	平波少将成経
亀王丸	僧寛康	鬼界が島～船路の道行より敷名の浦～
鬮引	瀬尾太郎兼康	千鳥
鬮引	丹左衛門基康	千鳥
鬮引	玉勘介	千鳥
鬮引	玉和生	千鳥
鬮引	玉幸助	千鳥
鬮引	玉亀寿	千鳥
鬮引	玉一郎	千鳥
鬮引	玉輔	千鳥
鬮引	玉文治	千鳥
鬮引	玉勘彌	千鳥
鬮引	玉紋寿	千鳥
鬮引	玉紋次郎	千鳥
鬮引	玉勘市	千鳥
鬮引	玉文昇	千鳥
鬮引	玉勘彌	千鳥
鬮引	玉紋寿	千鳥
鬮引	玉紋次郎	千鳥
鬮引	玉勘市	千鳥
鬮引	玉文昇	千鳥

第二部　午後二時三十分開演（午後四時十五分頃終演予定）

近松門左衛門＝作　野澤松之輔＝脚色・作曲

お初徳兵衛

曾根崎心中

生玉社前の段

文字久太夫宗助	咲太夫燕三	亘芳穂太夫治郎
津駒太夫寛公	咲甫太夫寛太志	亘芳穂太夫治郎

澤村龍之介＝振付

天満屋の段

切

文字久太夫宗助	咲太夫燕三	亘芳穂太夫治郎
津駒太夫寛公	咲甫太夫寛太志	亘芳穂太夫治郎

澤村龍之介＝振付

天神森の段

初

文字久太夫宗助	咲太夫燕三	亘芳穂太夫治郎
津駒太夫寛公	咲甫太夫寛太志	亘芳穂太夫治郎

澤村龍之介＝振付

手代徳兵衛	玉文治	前半
丁稚長蔵	玉和生	後半
天満屋お初	玉勘介	前半
油屋九平次	玉勘彌	後半
田舎客	玉紋寿	前半（A）
遊女	玉紋次郎	後半（B）
遊女	玉幸助	前半（C）
天満屋亭主	玉文昇	後半
お中人	玉勘市	前半
女衆	玉亀寿	後半

第三部　午後五時開演（午後七時五十五分頃終演予定）

近松門左衛門＝作　梅川忠兵衛

冥途の飛脚

淡路町の段

口	松香太夫友	国侍伊兵衛
奥	清呂勢太夫治	母屋女忠兵衛

封印切の段

	千歳太夫富	丹波屋八右衛門

道行相合かご

野澤松之輔＝作曲　澤村龍之介＝振付

梅川	文字久太夫睦	下女千代
忠兵衛	小住太夫希	亀屋忠兵衛
	栄太夫團	妙閑
	錦龍清團	甚内

手代徳兵衛	玉文治	前半
丁稚長蔵	玉和生	後半
天満屋お初	玉勘介	前半
油屋九平次	玉勘彌	後半
田舎客	玉紋寿	前半（A）
遊女	玉紋次郎	後半（B）
遊女	玉幸助	前半（C）
天満屋亭主	玉文昇	後半
お中人	玉勘市	前半
女衆	玉亀寿	後半